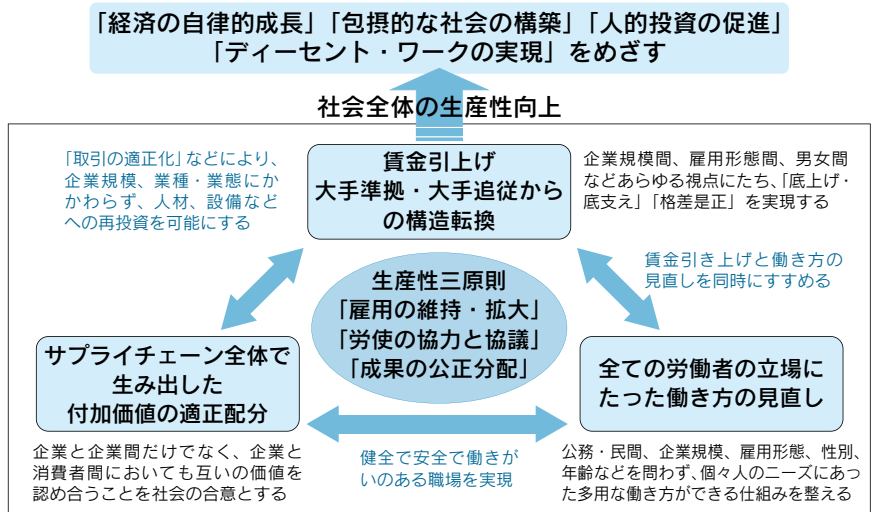


り組みます。要求水準は賃金引き上げ2%程度を基準とし、全体で賃金カーブ維持相当分を含めて4%程度を目指しますが、なぜ4%が必要なのか、しっかりと裏付けされた要求を組み立てていくことが重要です。最後に、すべての労働者の立場にたった働き方の見直しについて、働き方改革の関連法案の国会での審議がはじまります。私たちは法改正を待つことなく、職場の中でしっかり活動する必要があります。そしてサプライチェーンで生み出された付加価値の適正配分では、喫緊の課題であるトラック運送業における取引環境・労働条件改善に向けた取り組みや、教員の働き方改革もあわせて進めます。企業間のみならず、企業と消費者間においても取引の適正化が進められるよう社会的合意につなげていきたいと考えます。そして、生産性三原則はこれら三つの関連性を高めた取り組みを進めるためのものです。これらの取り組みによって春闘の結果を、そして労使関係の必要性を社会全体に訴えられればと思います。これまで方針を示してきましたが、結果を導くのは各単組の役員の皆様になります。連合は皆様と連携し、今年の春闘がしっかりと実を結ぶよう全体で取り組みが進むことを確認していきます。

2018 春季生活闘争の意義と目的



また、集会の後半には健康社会学者・働き方研究家の河合薫氏を講師に招き、『モチベーションを高める！「働き方改革」のすすめ』と題した講演をいただき、気持ちの面での働き方の見直しについて学びました。最後に、今春闘の取り組みにおける決意表明を、文真堂書店労働組合・沖田中央執行委員長、上信電鉄労働組合・石井副執行委員長より力強く述べていただき、参加者全員のガンパローで気を高めあいました。3月内の決着を目指し、連合群馬一致団結して取り組みましょう！

2018春闘のポイント

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！

春季生活闘争の意義と目的

キーワード：「継続」＝停滞ではない。真の「底上げ・底支え」「格差是正」はすべての労働者がつくりだす

- 「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めよう！
- 働く者・国民生活の底上げをはかるために果敢に闘おう！

具体的要求基準

～「月例賃金」「賃金水準の絶対値」にこだわる。あらゆる格差の是正に取り組む～
要求水準は、各産業全体の「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点から、2%程度を基準とし、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め4%程度とする。

すべての労働者の立場にたった働き方の見直し

- ①長時間労働の是正
罰則付き時間外労働の上限規制など、長時間労働是正に向けた労働基準法改正が行われることの趣旨と意義を踏まえ、先行的に職場の基盤づくりに取り組む。
- ②職場における均等待遇実現にむけた取り組み
雇用形態にかかわらず仕事に応じた適正な処遇の確保に向けた基盤整備に先行的に取り組む。

闘争の進め方

- ①非正規共闘の見直し
今年新たな枠組みとして、闘争方針の中に非正規労働者の要求方針も組み、正規労働者も非正規労働者も同じ交渉のテーブルで改善に取り組む。
- ②共闘連絡会議の運営の強化
昨年同様、共闘会議を設置し会合を適宜開催。非正規労働者も含めた賃金引き上げと働き方の見直し、中小組合への支援状況など相互に情報交換と連携をはかる。
- ③交渉日程配置
すべての組合は、2月末までに要求書を提出する。回答ゾーンでの回答引き出しにむけ、精力的に交渉を進める。
 - 第1 先行組合回答ゾーン 3月12日(月)～16日(金) 【ヤマ場：3月14日(水)】
 - 第2 先行組合回答ゾーン 3月19日(月)～23日(金)
 - 3月内決着集中回答ゾーン 3月24日(土)～31日(土)